

《令和5年度PDCAサイクル実施計画・管理表》

令和5年4月1日 現在

部署名	P 実施計画				実施管理(年度末まとめ)					
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行	C 評価		A 改善		
						区分	実施内容	区分	次年度への改善内容	
相談支援	幅広い就労ニーズにこたえるための就労支援の充実と周知	患者に就労支援が十分認知されていない。支援ニーズには個別性が高いため、患者にとって望ましいタイミングで就労支援を提供する必要がある	1)患者にとって望ましいタイミングに就労支援を提供できる連携体制を作る ・初診前から始める患者家族への離職防止の周知(機関紙への同封、地域への配信継続) ・生活のしやすさに関する質問票を活用した連携 ・外来との連携 ・書類係との連携(休職診断書希望患者へのPR) ・病棟との連携(入院時、退院指導時をトリガーに、就労支援ニーズをキャッチし、相談窓口につなぐ。好事例の共有) ・わかりやすい患者提供資材の作成 2)院内全体で両立支援を進めるための基盤づくり ・診療科カンファレンスでの周知、連携依頼 ・就労ラウンドの拡大(3カ月ごとに1病棟ずつ) ・外来化学療法センター、看護外来との連携開始 3)部署内の人材育成	令和6年3月						
	患者家族に相談支援センターの認知が十分ではない	問題を抱えた患者家族が孤立しないよう、初診の早い段階から相談支援センターを認識できる体制が必要だが、現在、全初診患者・家族に周知できていない。	1. 初診患者全員ががん相談支援センターを来訪するシステムを作り、運用する ・初診時から全患者が来訪できる流れ(フロー)を整備する ・マニュアル、フロー図、活用資材、来訪者の管理データベースを作る ・マンパワーの確保 ・運用しながら問題点を確認し、関連部署と共に改善を図る	令和6年3月						
	都道府県拠点病院として(県内の)ピアサポートの人材育成と活用の推進を図る	兵庫県ピアサポーター養成研修修了者が、ピアサポーターとして必要な知識技術を体得して活動できるまでの基盤(仕組み)がない	・情報連携部会のピアサポート育成活用グループに所属する ・月1回あるグループ定例会に参加し、メンバーシップを果たす ・2024年度に兵庫県が主催するピアサポーター養成研修とフォローアップ研修の開催担当を務める ・上記に必要な研修に計画的に参加する。役割がとれるようにする	令和6年3月						
	多様な相談ケースに対する相談技術・知識をみにつけ、相談対応能力の質の担保を図る	・相談員の異動に伴い、新しいスタッフが着任 ・相談員の対応能力に差がある	・誰が対応しても相談支援の質が担保できるよう、マニュアルの活用、整備、事例検討会、ミニ勉強会を行う。学びあえる環境づくり ・部内モニタリングの継続(年10回開催、2例/人) ・多職種カンファレンスで得た最新知識・技術を相談支援に活かす ・国立がん研究センター認定がん相談支援センターに必要な電話モニタリングを行えるよう準備する ・相談員を必要な研修に計画的に派遣する	令和6年3月						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。